

ミスミグループ

2018年3月期 決算報告

2018年5月11日
代表取締役社長CEO
大野龍隆

17年度決算の概要

為替レート (対円)	FY16 実績	FY17 実績
USドル	109.0円	110.9円
ユーロ	119.4円	129.4円
人民元	16.2円	16.7円

目次

1. 17年度決算の概要	2
2. 18年度通期連結業績見通し	9

17年度決算概要

売上・利益ともに7期連続で過去最高を更新
売上は堅調な自動化需要を取り込みほぼ計画通り
営業利益は持続成長に向けた先行投資増により若干未達

項目	FY16 実績	FY17			
		計画	実績	増減率	
				対前年	対計画
売上高	259,015	314,000	312,969	+20.8%	▲0.3%
営業利益 (のれん等償却前) ※	29,421	38,000	36,465	+23.9%	▲4.0%
利益率	11.4%	12.1%	11.7%	+0.3pt	▲0.4pt
営業利益	27,127	36,350	34,848	+28.5%	▲4.1%
利益率	10.5%	11.6%	11.1%	+0.6pt	▲0.5pt
経常利益	26,462	35,750	34,679	+31.1%	▲3.0%
当期利益	18,387	24,900	25,601	+39.2%	+2.8%

※北米D.L社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益

17年度 事業別売上高

全セグメントで増収を継続

- ・ F A 確実短納期の優位性により旺盛な需要を刈り取り
- ・ 金型部品 自動車生産低迷も中・亜シェア拡大で成長継続
- ・ V O N A 製造業向け品揃え拡大、グローバル展開加速

百万円

項目	FY16		FY17	
	実績	実績	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	259,015	312,969	+20.8%	+18.7%
F A 事業	84,669	105,184	+24.2%	+21.9%
金型部品事業	69,797	76,523	+9.6%	+6.9%
V O N A 事業	104,548	131,262	+25.6%	+23.8%
その他・調整額	-	-	-	-

4

17年度 事業別営業利益

F A 事業は増収、原価低減効果により増益継続

- 金型部品事業は原価低減及び商品ミックスにより大幅増益
- V O N A 事業は国際展開の加速と競合対策を優先

百万円

項目	FY16		FY17			
	実績	利益率	実績		対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース	円ベース	現地通貨ベース
合計	27,127	10.5%	34,848	11.1%	+28.5%	+18.3%
F A 事業	14,417	17.0%	20,171	19.2%	+39.9%	+33.2%
金型部品事業	3,097	4.4%	5,869	7.6%	+89.5%	+71.6%
のれん等償却前	5,391	7.7%	7,486	9.8%	+38.9%	+28.1%
V O N A 事業	9,950	9.5%	9,010	6.9%	▲9.4%	▲21.7%
その他・調整額	▲338	-	▲203	-	-	-

5

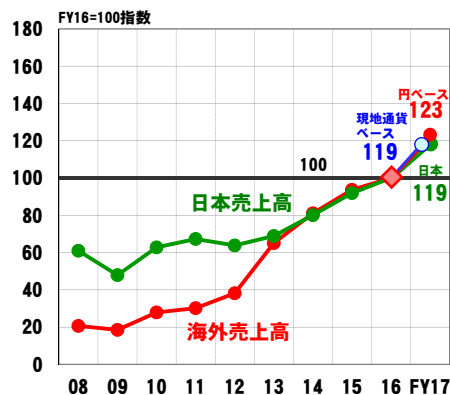
17年度 日本・海外売上高

日本 V O N A 事業、F A 事業が大幅増収

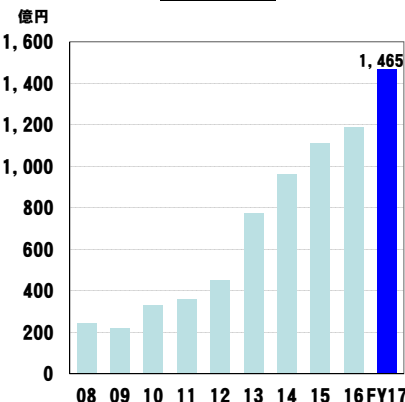
海外 中・亜は高成長継続、欧州は F A 事業が牽引し増収

海外売上高は現地通貨ベースで19%増、海外比率は47%

日本・海外売上高



海外売上高



6

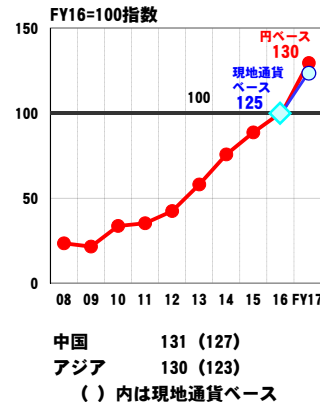
17年度 地域別売上高 (現地通貨ベース)

アジア 確実短納期強化でスマホ・半導体関連需要を刈り取り

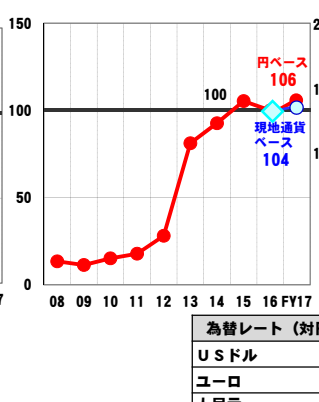
北米 自動車用金型需要の減少により微増収にとどまる

欧州 自動車、電機関連向け F A 事業が牽引

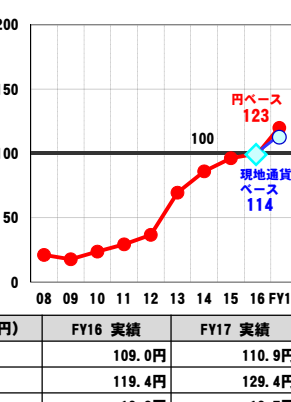
アジア (中国含む)



北米



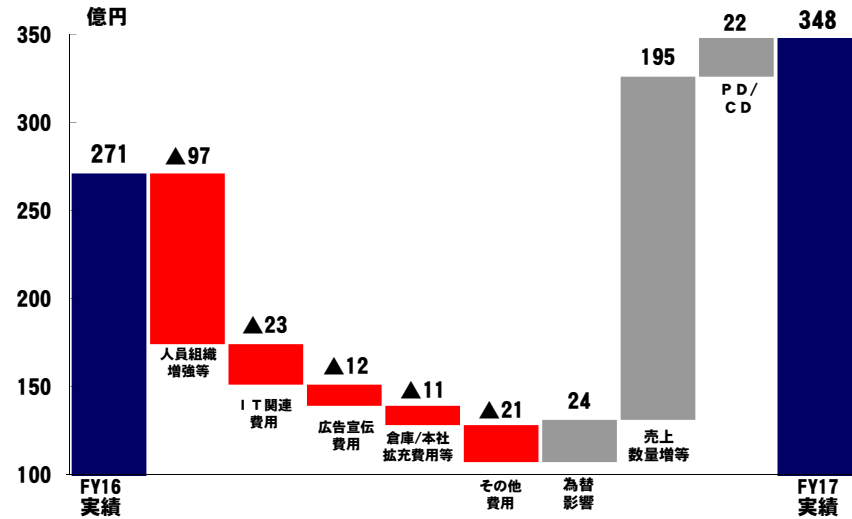
欧州



7

17年度 営業利益増減分析

人員組織の増強は計画通り、IT基盤強化は加速
VONA海外展開加速、物流費増あるも売上数量増効果で増益



8

18年度通期連結業績見通し

為替レート (対円)	FY17 実績	FY18 計画
USドル	110.9円	105.0円
ユーロ	129.4円	129.0円
人民元	16.7円	16.6円

9

18年度通期 業績見通し

売上高・利益ともに8期連続で過去最高更新を計画
確実短納期の更なる進化に向け、事業基盤の継続強化を図る

百万円

項目	FY17	FY18	
	実績	計画	対前年増減率
売上高	312,969	361,000	+15.3%
営業利益 (のれん等償却前) ※	36,465	40,300	+10.5%
利益率	11.7%	11.2%	▲0.5pt
営業利益	34,848	39,700	+13.9%
利益率	11.1%	11.0%	▲0.1pt
経常利益	34,679	39,500	+13.9%
当期利益	25,601	28,500	+11.3%

※北米DL社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益

10

18年度 事業別売上高見通し

確実短納期の強みでEV、有機EL等の分野で拡販を見込む
VONA事業は国内継続成長に加え、海外事業展開を拡大

百万円

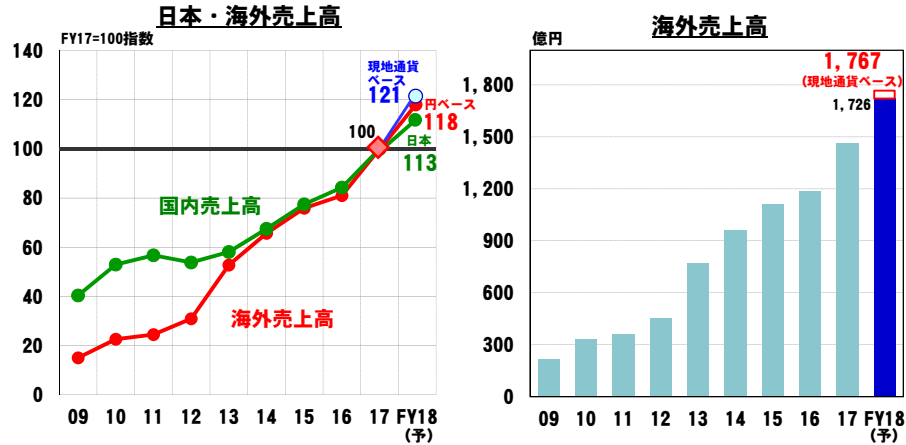
項目	FY17 実績	FY18		
		計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	312,969	361,000	+15.3%	+16.6%
F A事業	105,184	118,200	+12.4%	+13.5%
金型部品事業	76,523	80,400	+5.1%	+7.3%
VONA事業	131,262	162,400	+23.7%	+24.6%
その他・調整額	-	-	-	-

※FY16より全ての連結子会社の連結会計期間を4月開始・3月末締めに統一することに伴い、期ズレ調整が解消しております。

11

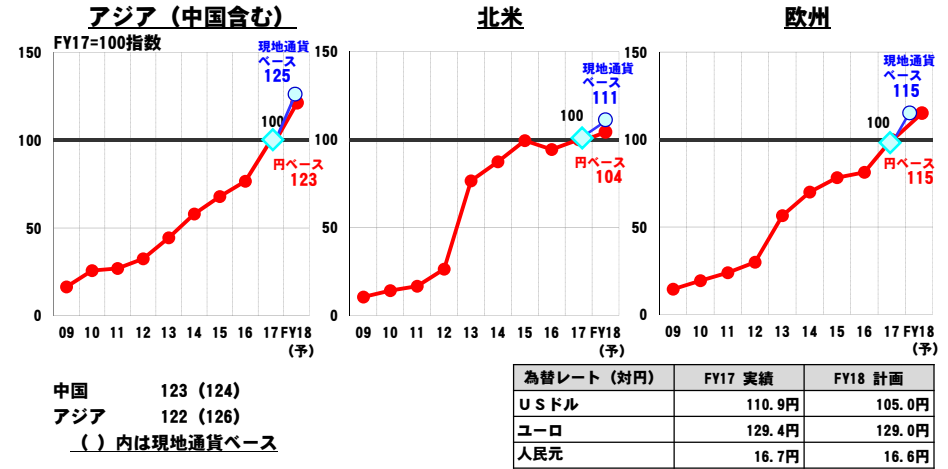
18年度 日本・海外売上高見通し

日本 F A、VONA事業を軸に継続成長を目論む
 海外 確実短納期供給体制を一層強化し、中・亜などで高成長
 海外売上高は、現地通貨ベース21%増、海外比率48%



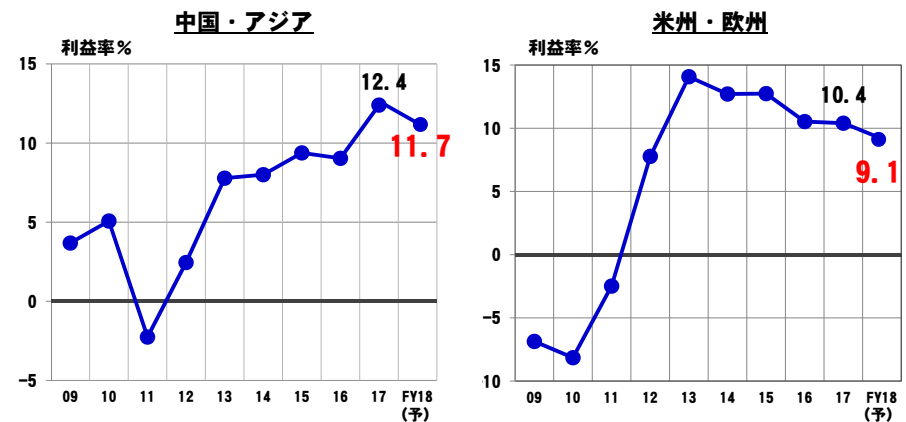
18年度 地域別売上高見通し (現地通貨ベース)

アジア F A需要の旺盛な中国・韓国・タイで高成長を計画
 北米 E V関連等の需要刈り取りに向けF A事業を強化
 欧州 自動車、電機・電子関連分野でのF A侵攻を狙う



18年度 所在地別営業利益見通し

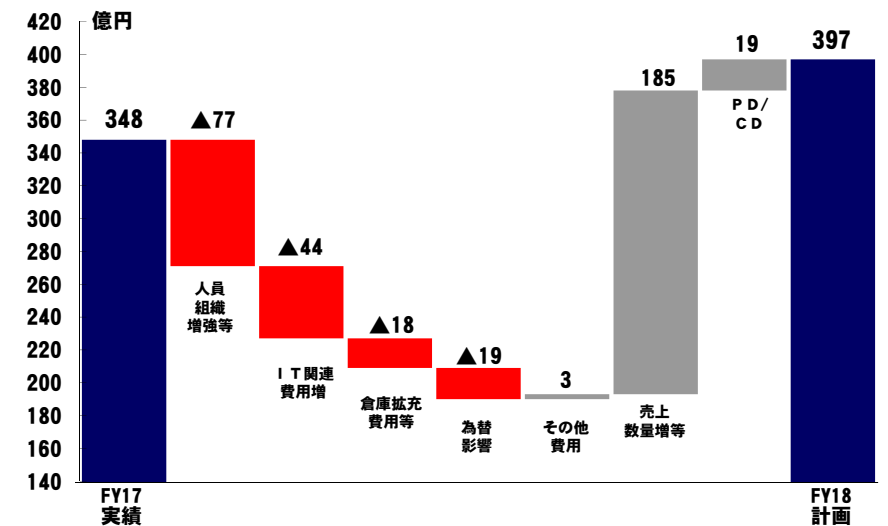
中・亜は為替除けば前年並み、米・欧は事業基盤に先行投資
 生産効率改善、調達コスト低減の継続で高収益水準を維持



※ 1. 所在地別営業利益に基づく
 2. 12年度より米州・欧州合計と中国・アジア合計の2地域別で営業利益(率)を表記
 3. 北米D L社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益を元に算定

18年度 営業利益増減要因(前年比)

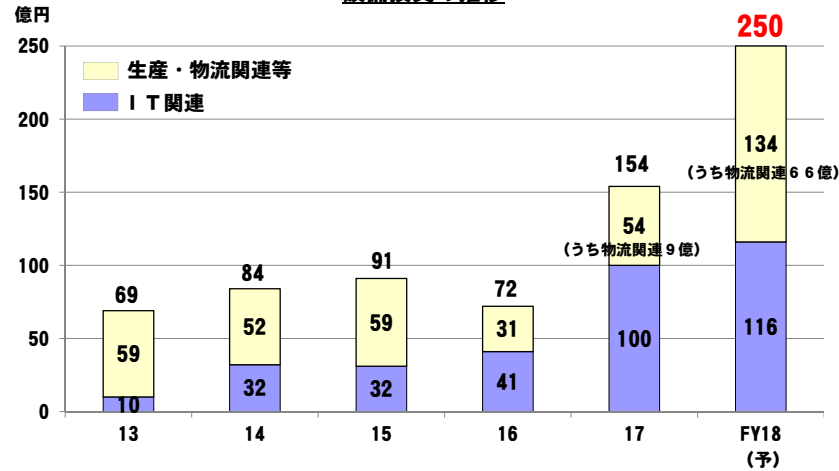
生産、物流、I T等事業基盤を継続強化し確実短納期を進化
 人員組織強化、積極投資の償却費増あるも売上数量増で吸収



投資計画

グローバル確実短納期強化に向け生産・物流・IT基盤を刷新
既にIT投資は前倒しで実行、18年度は250億円を計画

設備投資の推移

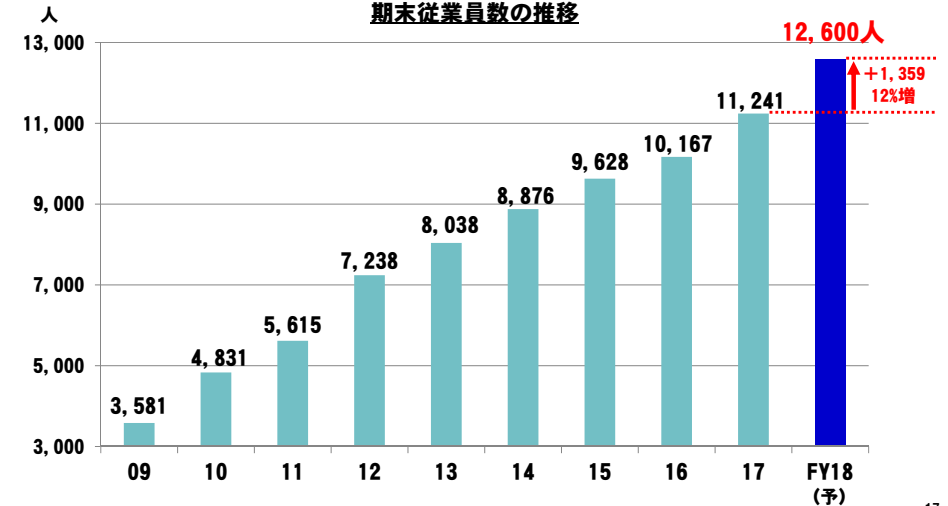


16

人員の強化

戦略経営によるグローバル事業拡大に向け組織拡充を継続
生産、物流、IT基盤の一層の強化を狙い組織を増強

期末従業員数の推移

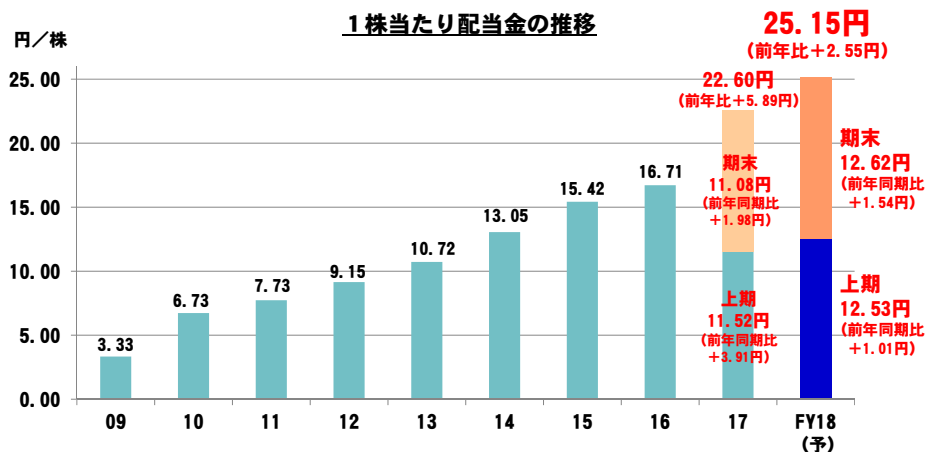


17

株主還元

17年度は、通期22.60円の配当を実施予定
18年度は、通期25.15円と8期連続で過去最高を更新予定
好調な業績を背景に連続増配を実現 (配当性向25%基準)

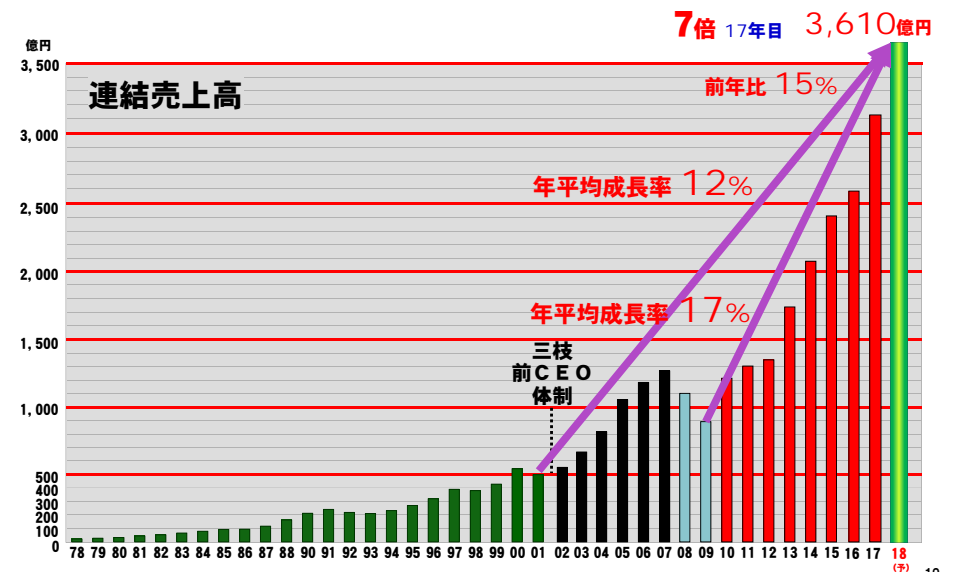
1株当たり配当金の推移



18

まとめ

今年度も15%成長を計画、更なる事業拡大に向けモデル強化



19